

☆放課後子ども教室☆

近くなったかと思えば遠ざかり、そしてまた少しずつ歩みを進める春の足音。福寿草やフキノトウ、エゾエンゴサクなど春の植物を目にしたたり、種まきやハウスの準備が始まったという話を聞いたりすると、暖かな季節がやってくるワクワクとした嬉しさを感じる今日この頃です。

さて、厚真町放課後子ども教室も5年目の春を迎えました。4月8日（金）より放課後子ども教室の新学期も始まり、春休み明けの子どもたちが元気に「ただいま！」と帰ってくる日々を送っています。進級し、新しい学年となった子どもたち。心なしか年度末よりもりりしい顔つきになり、学校生活を楽しんでいる様子が見えがえまます。高学年の活動日には、これまで低学年の活動日に参加していた子どもたちが、新4年生として仲間入りを果たしました。低学年の活動日には、5月から新1年生を迎えます（新1年生の参加は上厚真小5月9日／中央小5月12日よりスタートです。学校経由で配布している放課後子ども教室申込書にて登録をお願いします）。4月のプログラムでは、新しいメンバーになった初回、異学年との交流ができるようなレクリエーションゲームを行いました。学年をまぜてチームを組み、協力して課題をクリアするゲームでしたが、みんなで和気あいあいと遊んでいる姿は、とてもほほえましかったです。ときにケンカをしたり、ぶつかったりすることもあるかもしれませんが、今年一年、一緒に活動をする仲間として、お互いに成長し合える関係性を築いてほしいと思います。そのために、プログラム内容を工夫したり、適宜、働きかけたり辛抱強く見守ったり、私たちスタッフも真剣に子どもたちと向き合いたいと思っています。



放課後子ども教室が始まって5年。これまでに4学年の卒業生を送り出してきました。中学生となった子どもたちから「中学生の放課後教室はないの？」という声を耳にしていたこともあり、いつか中学生向けのプログラムをやりたいという想いを抱いてきましたが、念願叶い、3月26日（土）と27日（日）に『中学生版放課後子ども教室』を開催しました。26日は旧富野小学校を借り、放課後教室でやっていた軽スポーツや室内雪合戦など、みんなのリクエストに応じて遊び尽くす1日を過ごし、27日は厚真の素材を使ったおみやげ品の商品企画を考えるワークショップを行いました。参加してくれた中学生は、元気の良さや明るい笑顔は変わりませんが、小学生以上によく遊び、大人の発想を超えていく創造力を備え、たくましく頼もしい存在になっていました。そんな中学生と一緒に活動できたことがとても嬉しかったです。今回の中学生版放課後教室には、札幌市で活躍するNPO法人 ezo rock（エゾロック）から3名の大学生がボランティアでかかわってくださったり、役場職員や地元の生産者の方など、地域の方々にもご参加をいただきました。厚真の子どもたちのために協力をいただける環境に、改めて感謝を申し上げます。放課後教室1年目に送り出した子どもたちは、この春、高校生になりました。志望校へ入学したという嬉しい春の便りも届き、充実した学校生活を送ってくれることを願うばかりです。子どもたちに負けないよう、私たちも頑張りたいと思います。

